

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 赤穂健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">・若い世代の食生活に関する課題が多い・小学生、幼児における肥満児出現率が県平均より高く、一部の地域を除いて増加傾向（子どもと合わせて保護者への働きかけも必要）・各関係機関、団体の取組の充実
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">・若い世代の食育力の強化をするための食育実践プログラムの実施・食の生産から消費までの食の循環や食環境について関心を高め、地域の食について理解を深める機会の提供・関係機関、団体等の連携強化による食育推進体制の整備
成果	健やか食育推進会議および実践活動において、地域の推進テーマを設定し連携しながら幅広い取組ができた。相互に目的を達成すると共に、新たなつながりもできたことで食育推進のネットワークがひろがった。
今後の方向性	県第三次計画および各市町食育推進計画を踏まえた地域課題の共有により、引き続き各関係機関・団体の取組の更なる充実にむけて連携強化を図る。

2 会議の開催状況

実施日時	平成29年6月29日 14:00～16:30
参集者 (団体数 及び人数)	赤相いずみ会、赤相栄養士会、JA兵庫西、赤穂市立学校給食センター、上郡町立学校給食センター、相生市（各関係課）、赤穂市（各関係課）、上郡町（各関係課）、各市町教育委員会、播磨西教育事務所、光都農林振興事務所、光都農業改良普及センター 19機関・団体20名
協議内容	(1) 報告 ①平成28年度食育パートナーシップ事業について ②幼児期における朝ごはん調査の結果について（上郡町健康福祉課） ③兵庫県第3次食育推進計画について (2) 協議 ①平成29年度健やか食育プロジェクト実践活動案について ②各機関・団体における実践報告及び計画について ③地域における推進方策について (3) その他 幼児・学童における身体状況調査について
今後の方策	各関係機関・団体のプラス1の実践につながる取組の報告や事例発表を行い、引き続き地域課題の明確化と課題解決に向けた連携した取組の充実を図る。各々の取組においても目標や評価について数値化することを目指す。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	食でつながる元気な地域づくり～プラス1の実践で 食育力アップ～		
対象及び参加者数	①専門学校生 各回18名～29名 (延べ117名) ②地域住民・大学生・高校生 計 526名 ③地域住民・関係団体等 計 400名		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	①6月～11月 ＜場所＞ 平田調理専門学校(上郡町)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月食生活・食育アンケート(1) ・7/20講座① 講話・調理実習 おいしい旬の食材を楽しもう! (地産地消、特産物について) ・9/28講座② 講話・グループワーク 身につけたい!食育の5つの力! (野菜をもっと食べよう!) ・10月食育リーフレット配布 ・11月食生活・食育アンケート(2) 	鞍居地区ふるさと村づくり協議会、赤相栄養士会、上郡町いずみ会、上郡町、赤穂健康福祉事務所
	②6月～11月	<ul style="list-style-type: none"> ＜普及啓発＞食育クイズ、パネル展示、リーフレット配布等 ・6/17 相生高校文化祭(相生市) ・10/14, 15 関西福祉大学祭(赤穂市) ・10/17 あこう食育フェア(赤穂市) ・11/10 相生産業高校(相生市) 	赤穂市いずみ会、赤穂市、相生市いずみ会、食と農を守るかあちゃんず、相生市、相生産業高校、相生高校、関西福祉大学、赤穂健康福祉事務所、県健康財団
③12月17日(日) 13:30～15:00 ＜場所＞ 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール	<ul style="list-style-type: none"> ＜食育講演会＞ 演題「ごはんをしっかりと食べても 太らない体づくり」 講師：一般社団法人日本健康食育協会 代表理事(管理栄養士) 柏原 ゆきよ 氏 ＜情報発信＞ ①地域の食育の取組み紹介(パネル展示) ②リーフレット配付 等 	食育推進会議構成機関・団体 ※おいしいごはんを食べよう県民運動と連動 ※相生市共催(相生市食育講演会)	
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育実践プログラムの実施により若い世代の食育への関心や実践力の向上につながった。新たな関係の形成により別事業で連携した取組を実施する等取組がひろがった。 ・普及啓発においては、クイズ形式を取り入れることで参加型となり、対象者と交流を深めながら情報発信ができた。 ・食育講演会では地元のPTA協議会と協力することで子育て世代への働きかけができた。健康な食生活への意識改善につながったと好評であった。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の食育力の向上 (講座後アンケートより) 食育への関心が高まった人 ⑩80%以上 → 95.9% プラス1の実践目標を設定して取り組む人の増加 ⑩50%以上 → 91.7% (これから取り組む予定の人も含む) ・各活動・講演会の参加者数および実施協力団体・機関数の増加 → 予定時より増え、連携しながら幅広く実施することができた。 (普及啓発・講演会 対象者数 予定 800名 → 実施 926名) (協力団体・機関数 予定 19 → 実施 31) 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の健康的な生活習慣の定着および主体的な取組 ・健康寿命の延伸に向けた食の健康の推進(働き盛り・高齢期) 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

～食でつながる元気な地域づくり～

H29 健やか食育プロジェクト事業

健やか食育推進会議

構成： 21機関・団体

- 内容：
- ・第3次食育推進計画の重点課題と取り組みの柱に基づいた関係機関・団体間の実践活動の調整、連携体制の強化
 - ・食育活動のための地域資源（人材・施設・財源等）に関する情報収集
 - ・食育実践活動の企画・運営・評価
 - ・食育活動に資する調査研究
 - ・市町食育推進計画策定後の取組支援



今年度の地域の食育推進テーマの設定や事例報告、課題や取組状況などについて情報共有！

～食育実践事業～

プラス1の実践で 食育力アップ！



未来を担う若い世代である専門学校生を対象に食育プログラムを実施！
プラス1の実践力 up を目指しました！

食育実践プログラム講座①

- ①講話「地域の特産物 旬の“モロヘイヤ”について」
- ②調理実習
モロヘイヤたっぷり健康献立
- ③朝ごはんレシピコンテストの紹介



モロヘイヤの粉末も人気です！



いずみ会の方々と
交流を深めながら♪

朝採れたての新鮮なモロヘイヤを
たっぷり使うよ！



- ☆モロ元気丼
- ☆夏野菜の味付け天ぷら
- ☆モロヘイヤとたまねぎの二杯酢
- ☆モロヘイヤのスープ



食育実践プログラム講座②

講話・グループワーク

「健康な食生活とは
身につけたい！」

食育の5つのちから！」
(野菜の摂取量増加)

☆自分で取り組む“プラス1”の
実践目標を考えてみよう！

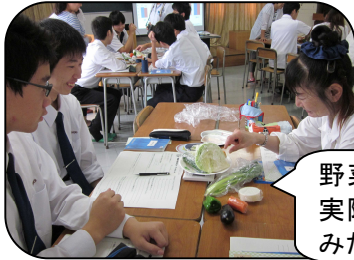


野菜クイズで
基礎知識を
ゲット！

～今日からがんばってやってみよう！

“プラス1”の実践目標～ (受講生の記録用紙より)

- ・野菜を1日3回とるようにする
- ・食に関する正しい知識をもって実践する
- ・朝ごはんを毎日食べるようにする
- ・季節の野菜を取り入れて調理する など



野菜350gを
実際に計って
みたよ！

アンケート結果より (講座実施2ヶ月後)

あなたは、以前より「食育」への関心が高まりましたか。

まったく
関心がない
4%

関心が
高まった
29%

どちらかとい
えば関心が
高まった
67%



9月の食育講座でワークシートに記入した「食育について今日から
がんばってやってみようと思うこと」でなにか取り組んでみましたか。

取り組もうと
思わない
8%

取り組んだ
38%

まだ取り組んで
いないが
これから
取り組もうと
思っている
54%

普及啓発

あこう食育フェア・高校文化祭・大学祭など



“食の健康協力店”
のPRも！



ヘルスジャッジで
健康チェック！

オリジナル健康心
りかけを作ろう！



10月は
ひょうご食育月間！



食育クイズ、食育パネル展示、リーフレットの配布 等

食育講演会&情報発信

地域の食育活動の
取組紹介！



何をどう食べる
か！ごはんとお
かずのバランス
が大事であるこ
とを再認識した
と好評でした。

